



# 八中だより



令和4年10月3日 10月号  
調布市立第八中学校  
校長 佐藤 政彦

HP : <http://www.chofu-schools.jp/chofu8/>

## 2022 合唱コンクール・つなげ私たちの絆！

校長 佐藤 政彦

10月に入り、今年度の後半がスタートしました。生徒会役員など、3年生から2年生中心の組織へ改編され、今まで学校を動かしていた3年生は学校の顔として、2年生は学校の心臓として、そして1年生は手となり足となり学校の原動力として、活躍することを期待しています。

今月は、八中二大行事の合唱コンクールが開催されます。2学期の始業式でも話をしましたが、“勝負にこだわる”行事になることを願っています。人によっては、合唱は順位を競うものではないという人もいますが、コンクール形式になっている以上、順位がつきます。ただなんとなく行事に向かうのではなく、悔いが残らぬよう、燃えて燃えて燃えつきるまで、やり抜いてほしいと思います。ぜひ、“優秀賞”目指して、みんなの心をひとつに束ね、そのクラスにしか歌えない、そのクラスだけの合唱を作り上げましょう。

先日、レスリングの吉田沙保里さんのインタビュー記事に「夢や目標ができると、人間はそこに向かってがんばることができると」、「笑顔は連鎖して周りを元気にしますから、ムードづくりは大事だと思います」と書かれていました。夢・目標・笑顔を忘れずに、実りある行事にしましょう。



### 令和4年度中学生長崎平和派遣事業 ピースメッセンジャー

調布市では毎年、長崎平和派遣事業として、市内中学生数名を長崎に派遣しています。次代を担う子どもたちが戦争の悲惨さや平和の大切さについて肌で学ぶ機会を設け、その成果を市民に還元することをねらいとしています。今年度、本校1年△組の□□□□さんが市の代表に選ばれ、8月9日に実施された『長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典』に参列しました。

先日、□□さんに今回の派遣について話を聞きました。式典に参列して「原爆の悲惨さや戦争の愚かさ、平和の尊さを改めて実感した」と話していました。更には、「平和に毎日過ごしている人は、今、自分が平和であることに気づきづらいと思う。私は、この活動を通して、友達と遊んだり、家族と話したりするだけでも平和だと感じるようになった」と、心の変化についても話していました。最後には、「現地の方が言っていた『微力だけど無力じゃない』という言葉のを忘れずに、現地で学んだことを多くの人に伝えたい」と力強く話していました。

ぜひ、この貴重な経験を、たくさんの人に語り伝えてほしいと願っています。

# 第1回学校評価（保護者・生徒アンケート）から

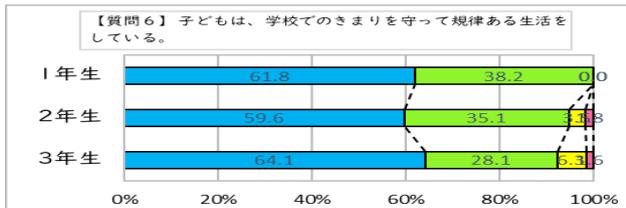
学校評価の提出にご協力いただき、ありがとうございました。

今回も全体的に肯定的なご意見が多く、本校の教育活動に概ねご理解をいただいているように受け止めると同時に、さらに改善を重ねてまいります。

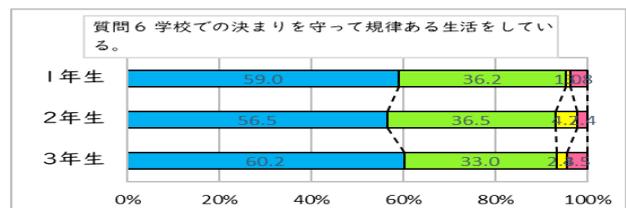
今回は、生徒・保護者アンケートの内容が近い質問項目の結果を比べ、生徒・保護者で、傾向が近い項目と傾向に差がある項目を挙げてみました。

## 【保護者・生徒で傾向が近い項目】

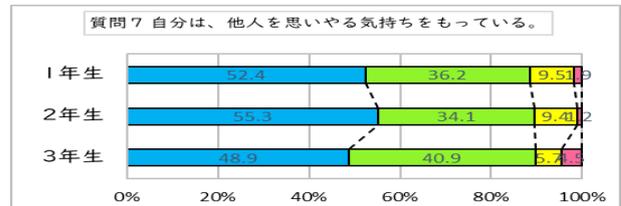
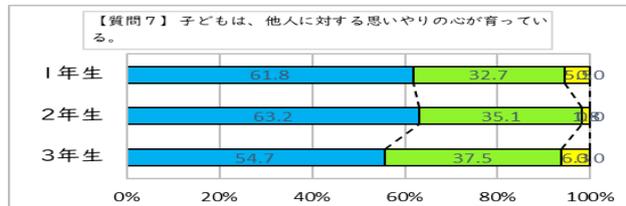
（保護者）



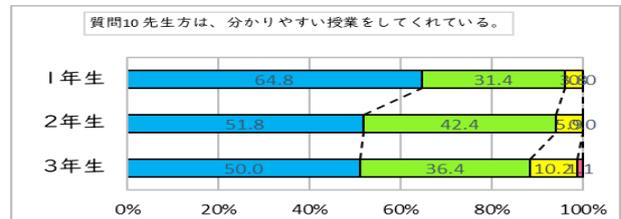
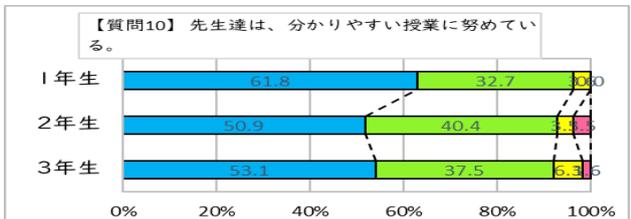
（生徒）



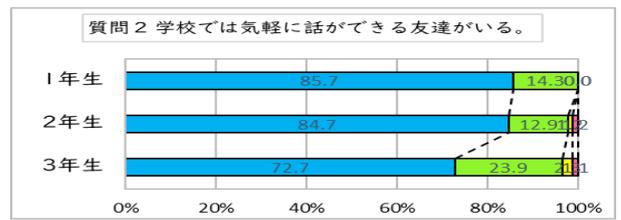
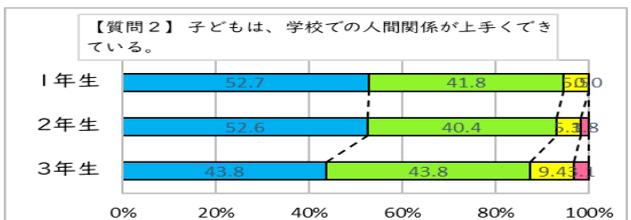
学校での決まりを守って生活を送っています。



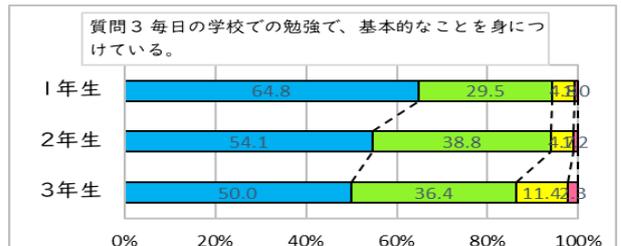
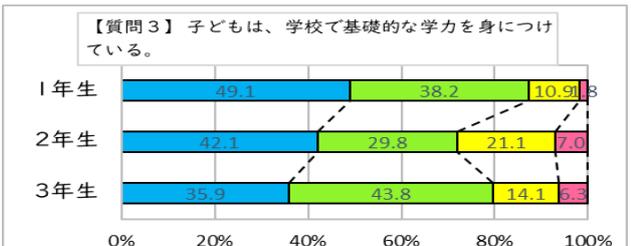
他人へのおもいやりの心が育っています。



## 【保護者・生徒で傾向に差がある項目】



質問項目の内容は、多少違いますが、友達には恵まれている生徒が多かったようです。



保護者は基礎学力が今一つと考えていますが、生徒は十分身につけていると考えている。

※詳しいアンケート結果は、ホームページにアップしています。是非、ご覧ください。